KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

713
3123
1

特
13
へ
3123
7

膝栗毛 外編

全二冊

顯聽栗毛四篇著者周
女方の所作。五段の紀行。十二夜は
紀。東関紀行の類。世を行り宮ゐ
時下役者の時代物。絵尊機妙の面
白をとていうる七人し膝栗毛の世話を
八物居向と專寸とて無屋居ふ戯
北八弥次二夜の居外方ま東海居の引

乃奥を用ひ今四世伊勢守まで人で狂言
の節をうたひ人物狂言幕の一段
毎に行る頻るそのハ作者のまゝ物宿
そゝれの芸不氏も領分縁の定数是
より右に出るを競べし弱冠より世生
二番目を頭して一数十番京堀の大
結まいるといふものハ大帳にて不人の記

有二

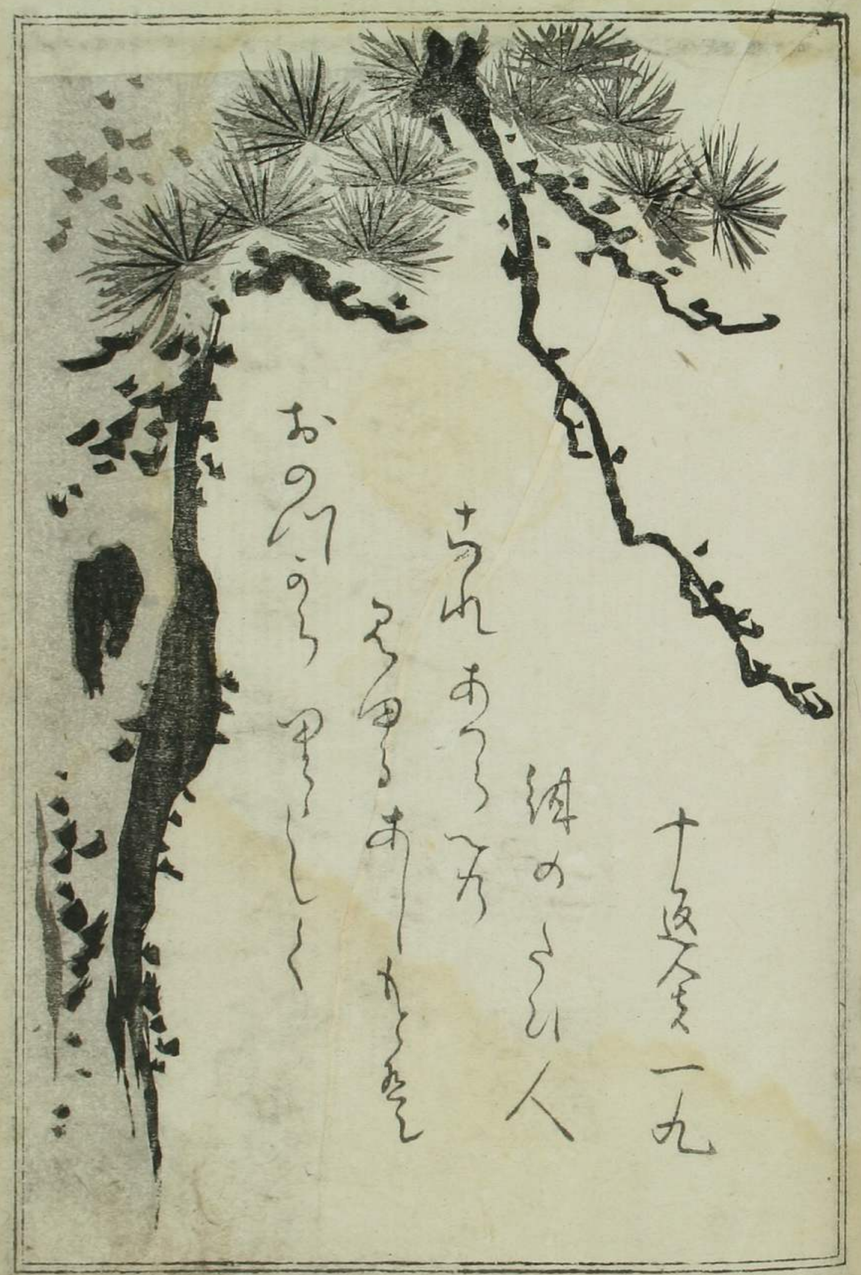
すべては世界いまゝ新井より素名
まで乃行より結て伊勢参宮のまゝ
仕組大津街乃の居仕合八世伊勢守の
歩出より載せ嗚呼大傳先生生
安より文集の二番伊勢守を出をすゝ
るゝて勝面不毛の四代伊勢守三年に不
遇して制表ハ敗るゝハ居芸に居の

大名部三部舎の評判記子年通

文化乙丑春 前黄表紙著作

書三三題千芳葉亭

吉原三二
吉原図書



上巻書目

新居の沢潤整肯
白浪加矢の駕嘆北八を誑き
二新茶屋建場北八酒者を著る
田舎芝居の笑話
荷物坊主持同荷
吉田驛より比丘尼を賺す
孫沢鼻岳彫物の怪を惧る

北八途中男猛
盡坂洞蝦蟇礼猛動

下巻書目

孫沢鼻岳彫物爭論
北八狂女より逃る
岡崎宿の遊戯
孫沢の彫草履を掠す
見絞屋途惑

北八伊勢音頭を踊る
宮酒醫女孫極楽を罵る
七里浜船中混雜
幸兵衛茶屋酒宴

以上 同編終

道中膝栗毛四編

十返舍一九著

中縁高貞柳の狂歌。螺貝の出しむりハ
志ろ紙ども。今吹よ元追風なりしと孫しハ。
米沢藩より若てる今切の渡りなんとめてて
鳴海の比山の吳より。螺貝あまとぬけ出てれ
よう海上あくなりしと元孫年中
公の命ふよりて。海上る数万の牧とうち。蛇

丸ちる
ちはゑの
はゝの
ゆはゝ

さゝれて
のゆまれ
あゆまの
さて
舟
ちゝまるのたゝハ
あゝ井の名をゝれ
まろゝゝゝ
あろゝしと
ちゝん

簾をとゝせ。性善侯紙の羅紗をまくひぬりし。
御恵のみぞさるる乱和らぎ治ぬ。
新ちやくの紙障きこ八。と折とうて。
あゝ井の歌よ丈そこの名物のかぶやきる
後と丈し体こゐるよげふも歩性のき絲
繰るちく。舟場へこぐ旅人はもてうの出
ふとよりふ寄ふ法れて。一至四金へのる宰
所いくちやうまゝく星後とふゝるさゝふ法れて

のゝしる。たくご金のたうなぐ。よくちよふま
げてそ。茶金ちんるのまへぶれをぢうひふり
おりてそぶ長りち人呂掃ふ。ちうし。
馬士うゝろをむきて。ひよぐうちぐゝ名をぐう。
ふたうぐ性和ハさる名のたゝよ工今ハぶぐく
て工。かゝもせあヨ。ドウく。ちんるハおやとゝちきり
まアゝく。コレる士ぐん。ト下ろゝ世人よ「ヲワト
ぐんちきる。りアおけちアイぐあぶんちんれ。ト浮雲ちやる金の新下へるとゝりゝるる

このうまうまのうらうへむめんのゆぎこふはんぶひうちのふくろとき
きをあてるふろさんだちくときうち後でるようちうてきさ
ゝ〻ふんぐりやきんでわる。おちやあがりまし　トちやうんだを
向よの赤ゝぎふしとろる。おちやあがりまし　トちやうんだを
ふ。お侍世のうををぎろ〻〻　モウ侍の時じやろ。ぬりま
ぶさあとあてちやうんとろう。昨日きんやまうの今附ぶじや
てもおざりまきよ。きんやまうの今附ぶじや
ろうい。ちゝくいてそふ。侍であるう。おなぐのうを
やれがおざりまきと。なんじや。お内後のうぎや
きう。ぶてんをの。きろ。ぶん茶いなんふうる。〻〻附ふ
ぶんちうを。お茶おいはをふあれまきとおふづけが

てゝぐろう。侍。そのぶんこれくとられ。ハイ
もゝぐんちうを。ちゝおふぶがおざりまきと。さゝ
ぐふぞ出ほとりうだんうべふおざりまきと。モウ
おふ。さけがされう。ハイめりうれまれでおざりま
を。侍。ぶんたゝのちんりうじや。侍。ふぶのうれ。牙た
ゝぐうぎたゝべふれまとふものとらいく。下戸
ぶるゝぜひがなん。ハイぶんなへあがゝぎゝも。ハイ
そふぞいぐれたゝふおざりまきと。侍。解せとぶ。お牙。侍

ほとゝぎすいよのゝどやゝ。ゆうなんぞ。ろ中
ごぎうちんちんの。ぎうぢんどもおそゝつてまうる。行よ
さうて
ほるほらぞゝいよのゝ。変てちうんるどや「さうる士
でんおざりまもとゞ。でゝおそゝこと「イヤきうてゝいのゞ
きへそゝふゞ。ほうれ生るとまやもと。牙大内家の気こん
ろ士ゞもへおそゞける「いゝゝれ売屋のお為ホへおも
きどゞてあるうゝ。ゞゞゞ出ろうけんおきれまゝて
「ほうへゝゝ小洲もきへゝゝトゞんざゝが「イせめて十

六文ゝきうませ「ほうゝべ。牙大「ほうけんるのゝて。今
「ろ文きへそゝゝトゞゞゞゞゝゝゝ

しさげ。しうぶぎ乃ぐ。ちあんまでござりまさの
他人ヤ身たくは他ないこいさ見らあじだやわじよ。
一ちくあるこいいもるでじまで切戻りた死あり
まさと隠ろんよりうどのきれるへ。あるきでるまでござ
まちまさぐ。あるまこ乃ぐお切まるこぐ。ちこ私
も。はるちじ一時年初おへたらてまいうこぐ。
まで他もでざりませなんぐこまちてお
いて去年出張もたいてたるこ。そこて又

今交たんて出まこぐ。れろちじませ。まぐなん
もさざりませぬ他たてあおまおへ身たよう
乃ぐ切ちぐや。いぐいこませばそのあるよ。ひきこく
ちちあぐうたうルまさる他十二サ字鞋ハまたづめ
あこても切ちしませぬが。そのうり。私ハでみも徒
まんまぐきれてちり ませ他てそれハぐみて他私ハ
ぶ張へ出まさちるこ。るふ紙のぶづめよいここまさちう
ハ他おきちやアぐちここ他サアいうよ。あるこちあるちこ

アイ　おせへ　トてこの動きをとるとは　しもくちぶれよう　二人共
　　あさ川まで　の　かるをとりて　おのうりの　ちぶ　ちぶ　まや
　　ふる所山　をしりの　少よりの　ものれば
　　ぶをとへ　きの　狂おあとに　づさむ
　　とび　かるが　うむ　とる　ゆの山の　冬　ハさで
　　もき　まし　ろ　ちぶ
　　ちろ　ちろ　ゆく　ふ　遠や　せし
　　山　あろう　ふて　向　よ　ふ　ろ　る。あさ川の　かる　ふり　合　さ川の　ぞ　ろ
　　川　ぞ　ふ　ど　や　おや　ろ。ろ　へ　て　いろ　ぞ　よ　ち　ろ　の　ん　ぞ　お　ま　て
　　さ川　ぞ　ん　と　や　ぶ　ぞ　よ。そ　れ　で　い　ど　や　ぞ　ん　ま　ち　ろ　ま　ち　ぞ　ん　ま　ち　ぞ
　　まけて　ま　ろ　ア　ぶ　ど　ト　ふ　ど　の　ろ　ぶ　ん　で　ぶ　て　川　ぶ　ま　ん　ど　ま
　　あ　ろ　の　ふ　ど　ろ　ま　川　ぶ　ま　ん　ど

かるとろへまちとろ。ふろてひさろませ　川
川まで　ま　ま　ま

出女の彫のくるまも久ふめで
ちなんくらをて面まての乃宿
は宿とうちまで。程なく汐見坂よさしくるま。
ゝとちなん小ハ山つゞきふしてまふ茶あ浸くと
ゆくへ。絶系まさつくよいゆぞうるゝ
風景よ悲あるて志とゝしや
女が国りの汐見坂下乗
小八らくにゞきゝゝるゝと一ハアに見れハ高ゝ山のこんぐやる。
なるのさんぐう宮つけて一ハアに見れハ高ゝ山のこんぐやる。

アに向の山とゝさきあり。麻ゞねあり。まさハ
小八
一ドレく見ハおりゝゝ一めいよゝおゝどの見物ゝへ。
あんなおりゝもちふ。ちく世ゝめをめづゝ
ゞゝ三ゝ。昨日ゝきんゆゝうも資今ゝゝとい見ゝ表
ゝさおんゞあゝと小八おれも今の麻で一首よんゞき
さゝちまいゝてきゝゝ世ゝさゝゝゝてるの耳ゝ風
ゞゝゝゞゝゝゝの三ゝゞ。れく山ゝるゝ表ふゝ見け
なゝく麻の。拝きく時ゞで秋ハゝゝきゝちんと

伊勢屋
京の酒
澄て
あうる
西荘小
東盛舎
一河

きやう妙うく〳〵ぐんるへるはりのごやぞ〳〵ぐもい
ふりく〳〵ぬぐ。なんまーされ。うこぐ歩ぞ。ひ西つと
出るといふものぐ〳〵ぐ〳〵ぐんく〳〵ちまつとこぞ不ぐ
はくるるものよ。イヤもちぞ。あんまり懸てられ
こう〳〵酒ぐ呑〳〵こうるのこと。こそ八遠坂ぐ〳〵さるぐ書
坂でおざうまを。サア持紙一ぷくもつていらアぞ。トもの
うどよ出るを。ハハ。こんな一重ぐのまつ〳〵。コレ女中。そこへ酒
おかしやまを。
こそこそ弁でも二本でも。味うめへ者とつけて出〳〵て

ゆてくんな（ほかるの内まで）ヨヤ小八ぞ〳〵ごでんぶおうふう
なてとゝいふる小八十二サ ちよつ〳〵呑せるがごとでもきいの
くゝひるものゞトさるやどひろひ〳〵ぞ（一ちとゞ〳〵て）ア（ほ）ア
とそんるおごろう小八ちれとゝるつる（ほニ）おり〳〵ろくおいらもれど
（ち）（そ）（ち）（ほ）ぬきくよおろう〳〵ト（ほ）ふうごと出て（ほ）こせさるよまろ〳〵やゞて
（ほ）（ほ）（ち）（ほ）（ほ）（ほ

あるまん殿様ハ[illegible]金まつ[illegible]きつまつ[illegible]ア
小八くまめぐふとんの下へ出して。ひ[illegible]ろうまいして
わさ殿ぎゃア強へさ[illegible]ぞうきれでおざうまさと[illegible]トわハ[illegible]のうちふ
[illegible]ぞうきいまいしいて
[illegible]ぞうきの[illegible]ぞうきの[illegible]ぞうきの

両側の茶屋がある。弱人を見うけてゐるへお休なさりまァ〜。あるさるお吸物もおざりまァも。
ゑ絵の者で酒でもお飲でもあがりまァ〜。はなの方のりどに
あるるもまけ。小八張ぐとの世ヒヤア八ゑ来。くてうせる。
ようるぐとうめとよびうけて。
ちゃ〜ら
雲間生め。さもういて嘩が雷と言れ宮丈めが
きけこえでけつるハ。張ぐとの世あるうめ。おどれが
亦の狂父めが〜始てあることァちざるくて
くれめ〜〜トこをりるどうの中のさこーまおはをておうて。
張ぐくきさハちようあてゆくと。このしるくハ

上井四へ、十二

いづれのこのさるあるやお小休しくくで世年はのまくるのうりのくそうぐき
あまくこのはぐどうぜいまもちぐびこのやさるぐでを張ぐてうけまのこと
おうもどうるあんぐでこのおさるひ流。
はやはへあつめるとんてきさハ。おやまれも
二年さしているる。ぞうァいるる。張ぐ温泉さんきいていること。
大変ぐでおりてけつるそうぐ。アノ。ふうけとはるる。
どうぐでる蒲変ぐかさ。張てあ〜ァ。その名ぐ。のハて
ある人の天ぐとはる。叶張ぐ。ソレ
るぐさァ。張ぐ。アイ〜〜ヨりハ。ハる合羽紙とおきゃァ
がるトけうまづいてぐをいとと。
茶屋の中るてはこの男。コノやろめ。合羽ぐ人ちろく

とうけやァがて。ふてんことねろ者ァ。よとり
つァらぶらくぞ（侍）（おるる）大江山の（やどき）風附者ァ。
（中ろ）
ぶらくも気ぐ法ろ（中ろ）るんごといい。ぶちまる
（あらいこと）
きとぞ（侍）きとぞ。ちの赤鎧でナニ（中ろ）きれるものう（中ろ）そよ
（きく）
ぬらしやァ切ゆやァ。なろぬ。コリヤ（くく）用助。お牙のとーの
（うく）
うのとちまつ（う）偽しゆれドろだのくまけぶこ（ゆく）（中ろ）コリヤく
（たもの）
切ちつぶお牙の丑物でなぜきぬ（中ろ）ハテやるまい。
ごれできれてもいしやァ（くゆ）（中ろ）ハテ

ちいいやとぞ。ちまつ（くゆ）（中ろ）イヤきておわ（う）も
気のきう女男ぞ。おれぐ（ぶこ）りんとの（ちちち）猫ちへ強持乃
（中ろ）
ぶるしゆァ移へ（ホンニ）そのれ。コリヤおのれ。牙そとき
ゆれちゆれぞ。ゆるしてくれ（侍）（中ろ）イヤいくあく
サァきれく（引ようもヒぞ）ト（げんがうそりゃ）ぶるくこのうんぶ（おうぐ）ぐて（中ろ）そよ
ぬう去ゆァ。ア（ア）ゆるぐちなくく数。（つまこう）ちるくれ。ト
引ゆいてつきまうる竹（ぶ）ぶと（侍）（中ろ）イヤレ人ごろく　ト（清ちゆ）
（ひつ）ぶちんで移ぢさんもべぐぶんの男　（そのさゆの）

おさまるのりなれば　カツチリ〳〵　ぢそうやおくもでらくてきぶでらちごう
ぢのようなそけいかもそれぎりとも。
ぜんぶくえもこゑはさんりきのきこと　ハ　大笑ひのけんぶ
もろくもこうとのがれて見だやうなれ
見ればざーの掾みハ作〳〵ゆんゆんども
宮殿よふーハ　ハかゝて　ゆくでゝ
ゑんよりは岩とおてさどりはるまやくも大岩
小宮と打ちぶ宮殿の鎧まるとふーおぐゝて
彩がけの詩任宮よおぐむ　鎧　音も
屋ゝくひとハ　四ゝて　ろうち

げんも旅のきさんドハ　ハ答ゝゝざとゝる声ふきはし
あゝてゆく内ふもさてぐよ宮殿の矢びゝるぐゝ。
ハ　ハ　ゝとびがゝちとだゝうの風呂や白布紙金相
もなゝく彩ゝなるすのぐコウ　ハ　きんおめくの音の
とゝろちぐそのと一面ゆして。情を持よゝるゝぎゃ
彩ゝゝコリアア　ゝりゝへさんゝゝふゝ行ぐ拾て
あるトひろゝゝて。ゝゝうの音のあと　ハ　サアー　小ハ。てめくゝ
りてゝん　ハ　ゝ　ゆ　ちめくゝゝゝぜくゝ　ハ　ゝんゝ

拍子けんでやろうぞ。ヤアこれ。トイフウこイ。おつとまめこ。ヤハアて
いめへまーこ。トひろうこげてけ。命ようこ事。俗ハ花宗と云て。ぐぐぐぐ。ぐぐぐぐ。
ぐぐぐぐ。ぐぐぐぐ。ヤハアヤ。浅草さんこ。ここ
ここ。浅草ヨウト。文ふうりやこ。そうぎの。ぢさ。ハぐぐぐ。ぐ
やくこれバいこ。ト。又命ようこ。ようこのうこ。ヤンここ。ここ。ここ。こん
山うこ。谷ぐ。ぐこれバ。ヤ。おまんかこれや。布。さこ。ここ
ぐうぐ。浅草。まこぐこ。おこ。ぐ。ハ。浅草ハ。和尚所。こるのうこ
ぐ。ど。ぐ。ぐ。ぐ

東牆亭
一風

大和茶
二六そば

小八 人は善をもつて善をもつて伸くいつものぶ。是でお徒と陳
さんなりちぶ。ヤアヤアとゑつてアまんざらでも強へ強
さんん孫へ。ちちちの此兵庫ぶおれと見て。アレいろを
ゆとくくと書と敷ぶこそ。これるよるぶ。二番目ぶ小八あの
きゆうのいの者アア強へ。アリヤア 鄭よ走まうのわ人
のぶい小八ろくいふぜト問あるゆ義よりびくまい
十二三の少びくふもまこえんづれゆやも小八モしあるとやいおざう
ロロのびくまぶきさ八のそぶくよりて
ゆせぬう小八アイ〳〵今うのてあげやせうトまうゆうもと
出しうそくく

小八 サアおあぶう。時よおゆ人ぶとアぶけへいまちなさる。小八名
どやのなくまうまを小八えやいろ義よりびくまい
あうさう
赤坂をいろゆせへ。一ぶう小八ろゆ走やせう小八それいあうぶふ
おざうゆまと。モしぶでおゆ多孫と小八ぶくくぶさう
ゆせ。こんと学うのとこ小八ロまれと云まいと小八サアヤヤこぶといれと
出しる。えんなあげよう小八それでいあるとおさるうでお
ざうゆまある小八ロロちちやアよう。時よおめ人ぶとのふ
ろうの彩で。なぜ髪を利なさうと。ゆんまそふ

しておくいあいいものご[illegible]ニコトこてらぐ。こて人髪ぐみあつ
さこて。[illegible]も持人へおざりませあ[illegible]あるぐんつぷろ
ちこ[illegible]ア一だんまろまろ乳ぐ。なんころ[illegible]ろ[illegible]てこん
なさこんこ[illegible]ホこ[illegible]ちゃく一両ようこまろて[illegible]ぷ[illegible]さ
んぱきぷの家へろよこ[illegible]ろふぎゃア孤人こ[illegible]だろアぬろ
せ。あやゆく坊主のこるぐこ[illegible]ぎれこトこ[illegible]ぐこ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぷ二けんちゃ[illegible]ろ[illegible]ぐ。[illegible]コ[illegible]こ。おめへこちゃアぐこ入ゆく。
ころちぎゃア[illegible]あるめへ[illegible]ぷこ[illegible]おこ[illegible]れやまを。

[illegible]ぐもパこの主人へまいてまんろまこ[illegible]ト
ゆこもとこ[illegible]こ[illegible]ぷ[illegible]ぷ[illegible]ぷ

はしりまくちがれちゃ。おを茶円考しんしんあれば。おしきらてきちやぐる
ま合土方人をあゝまきゝしてれとときけべゆみらめひきのこてゞ
小角の小おぐらくるてるきかをあてる。ありやをとりてもう。ゑゝき
づゝゝいとぐてをせふひゝおとゝ。あゝのろうとゝかろうて
ヲイ。酒屋の卯。よゝ。ヲイ〳〵。ちやく〳〵来さんのゝ〳〵
トよぶこえは。酒屋の小八おゝゝくゝこのよゝまゝしよびるゝ男をこれべ。縁の役
つるのひろこそあゝせまゝこれもつこゝらゝとゝぐさをせるひろわいたあぐこそて
めゝしるこゝびん。ちあげるおとゝ。ヲめ井せをふアや。手屋せをふアハゆゝと屋ゞ
ちゝゝ
きま来ゝぐアのゝ。ちゝゝアあくゝのあろぎれさアへ石ころ
ゞはゝゝだらゝて。あるゝ小ゝさあ。まゞろあぜんハゞゝ
しきゝゝのゝ。ヤレさて。きろなきろ。おゝの建切で

静はおゞ指病の疱瘡さアおろゝと。金玉ノウ
はうあげて。うちぬゞ。あげへゞまさハぎる
ゝゝよゝハア。代はあゞ。杜丹解さアこ千ゞゝも
うちゝゝとげで。合傷のウしてゞゝんだゝん。せろる
ゞを。まんゞをれる。無茶ハ悪子のくゝしさアで。明笛
のウてゝゝと。風アこゞてなきろとげでゝろゞ。秋乱
の女盗ゞのゞ。三人のウ介。花して。ゝあゝとゝ
つるんでまヤきへふゝ。ヤゝゝあふも。ゝろゞよ。

走
うれぴって仕合ごァの。
何時
ごァごァ人い死なきゃ
ならぬお伊勢さゑへまいりゃさん。
ぢきうきゃうきけべおめへごァ義理ごの。
いなさるがごァいよこれハアそんさゑの
ゑゑおりゃんだい。コリャハアコリャたゞ
まへよ。祭礼がありゃて千本搗とりよ芝居のウー
ゃうゃうそれでハアよりつ孫ごァの。
ゲ
云さァおつぢどめと時。
ならぬよりゃう。その公と

ゆるしていつけとゑせさァ。今でもおぢけよりつよのでぢ
おざるべきこゑゃ。そんなゑゑおめへ義理ゑゑと
おゆとこゑゑ可ゆでおざる。そまへまコリャごもゞ
江戸まへゞまゞまて。天神さゑの松ゑのウーゃさん。
きゃうさるゑ。ゑゑげこァゑゑゞ。あゞハァ時年とゃう
ゑゑ弗ゑゑゑの人どのゞ源ゑゑのウせゑまさげで。
天神さゑの傳ゆゞしよりなゑゑゑゑゃ時。
てお出ゃるゑ。おゆゞハァ人物のウーしてゐる。ぢあさゑ

くもりうさぎくもり
さぶしく。御門跡さまの五〜〜やまとよろ宋
ざァの秋ざァのし。菜素さァへまれちらいて咲〜
ざァ手る。そこでハァ天物の中うち。情労の与五郎と
りよぢなん人ぐ。弟子素さァべらけざんていまるやァ。
この素ぞやァなかるなんぞく。あぜ天神さまァ浦
なぐーよせるのぐ。家おお出ぐ。本ちさまの
五郎まさまァ入るよ宋。おろ乗どのぐ乗人ざァ

上ヤヘシ二十

あゆも天神さまよ科ァなんぺぐぶ志ぞやざァよう
て。ふくとる条ふーとこえざァ。天神さまの素ァやァ
山情労の与五郎ぐりうへ。ぺけどのへうぐあいてぐと
あふハァ。山手衣宋の二倍べしもさ志ァげる力の
ある世なァぐんて。強もうりうるげて。投扇のウせる
人ぐァなーー。五郎もくちうぐよ。与五郎どのをぞ。
その時宋ーちうァ志よびき出ーて。ぐりうけ。あよ
ハァ村中の名ん人ぐちぐ。志ぞさァへ解こんでらん

ぞくとあるしおりはなさうそうせるしあるど役者め
財子どのパコリヤこまるしなれ。屋のウちうをちまの
て。ぱんぬげアしをれうしハア各のしどし（逸）（当合つけ
て。りよ出材へるど役者アいれさるなし。浅合のウし
て。子ーどもグを役のちぞもさアで。行げをのうおつも
しあやしさぶ。ゑどちぞもやようアぶちゑるわども
ちりヤしトいきやいちうしのゑぞぐう。おきんらしくくるし
ちゆくまるびつのまゑ。大ちきまるよいさる。
こあしこうのあまぶけのめいぶつるれば。ちのくくハあつれてぬちく
ゑよやまれ。ぶけうえへまるハいどちぞぐしうとうちもぐるして

いやさるき はあ手のまくの名ぶを
こゑも 佛よ あるし あまぶけ
ちく 形てはあうようたゑ月も仮花。ぞるゑ迎られば。
いぶや名ん。そ名ん。ぞ邪しぼとちやあてうどうり
ゑちをぐうへどぶ活さん。指うあ名へのハ大花よ
くうびれうへハなんしクアの絢ハ中ぐるる宿でゑう
しぶ。今我ハこう赤名せう。赤板まで月ちぶ変
いゑ。能宿をうやせう。おめくうびれうちう絢

御油甲山

反歌

かすみこそ
まさごろうて
はるばるの
甲山の月

水府
立彼吉丸

赤坂袖の濕

佐保姫の
袖のうるおしの
ものをてハ
妻の撰抜を
乞ねがひ
奉る

反舍伴
本屋安根

くらさぐらふ来なる世へ宿らう向ひの人と出させてお
きあせう〳〵ようろう。志ろ。宿ハどこでもいてくら。
くぶのあるてゐる間あるもの〳〵のことを山くトころ
ようろうけあはせてさるくろ。浦ぶあくようろうゆくよるくぶ
浦世のしもくようろうくろころんだや長ようろうで志ろうようろうくぶ
世ぐぶのもめんとうぶろうくるごでくゆくるくるぶでとひいてうる
さられを。浦ぶふ長へやうくくふうきうりきぐるくて
その都でこあぐてなるさバ宿の名の
浦世るさ〳〵ふ長あるよ第四ふぶ世ふ。ふるぶれ

の茶屋で鄉とうけさるよ。あるどの楽〳〵アイ茶ア
まいろうませ〳〵モレ赤板まぞへるよおーぶの〳〵アイーえぶ
十六ヶおざるぐ。おまへひくくるうぶ宿よをまるうきあり
ませ。はさるの松ふ志へハヨる孤ぐ出おけて。孤人孤ぐ
よく化されやきに〳〵ア元の孤へきなりぐ。志
ク〜変へ向ってもつれぐさ孤へいるくるうきるぐ史
ヨぐきるはことア孤へやるしてふ。アイおせへトちや代と金
元出ふよくきハくしうきるくまもよ
ついとうけるぐるりまるう向やとのるくえ〳〵ケンリくリヤ

なつきやアげるべ。おのれ出て見ろ。ぢち教して[illegible]ト
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ト小八とてうけろ〳〵さて〳〵おてうて〳〵おうなの毒くらいうぢゃ
いづれのそこどやゆもきやく〳〵とそあて。かどくまうちる女も又〳〵ぢ。法ぢゃ
くうむうりの人ぢりてや代
出そうるまくうろきて内〳〵コウ 法ぢさんいうげんま解てうんる。
ぢ
外ぢのうろ小人ぢきまろ〳〵又てうういるる法ぢ人をと
くう〳〵ハテ宿ぢいどぢ去〳〵ん小ハ ナニおれいとふみるうのと。
ぢれぢさ法〳〵ぢとこいておくうものぢ法まぢぬうしやア
ぢるうちくせうあ時向ようる門ぢ釜のおとと〳〵あるこ方い来宿お
こうもく
こうでハおざうませぬう法〳〵きさ気むうひの人ろ〳〵ハイ
おさゆうでおざうまま法〳〵それ又こう法ぢけぢこういわ

上州八ヘン 二十九

ト小八とてうけろ〳〵さて〳〵小八
ひうろこうハせる〳〵アイメ〳〵。ぢふまゆアぢうゆぢやの男〳〵ある
法ぢ
〳〵こ方。外のおつれさ気ハい。まぢおあ〳〵でおざうまもう
法ぢ
〳〵十二ハ月ろちひうさ〳〵ハアこれでハる遠まし〳〵。私
中ぢ
こ方のおこ気うハ。拾人さ気ぢやく〳〵ぢうまし〳〵ト筋ハ
こうく
ひうるうこ又あうまさ法ぢ
どやのこれまこれまて〳〵おこ気うるうり法ぢ
トうけこて
こまる〳〵イヤ法れ
のうのぢさ法〳〵まこまぢ
小八
法ぢ
〳〵ぢ〳〵そのつれハおいうぢる
法ぢ
〳〵ぢいけまぢ〳〵ハゆぢ。ふいうげんま尾尾こ出〳〵
おれ。イヤまて〳〵。あここま大ぢいる。コ〳〵シロコ〳〵ヲ
いや

ヲミキ〳〵ア大ぐきてもいけきやア〳〵としてはおる
う〳〵きてハ抵でハ抵へ。ぶんそうの小八ら。
見りんきゆれぐ〳〵サアおめへの正へてるやせう
ト云ひけてきてハがいまし〳〵めサアおそいうきませ。ソレ
ともそくしぐらめそいも
お湯とそこへてこれ。おさ〳〵きハるるこんぐ
めるあいとトあらふばちちゆの安ゆとぐ
ハ不ぐるしやもうアぐきよ。ぶんそうのきつるぐ
とふりひつめとぐ〳〵いめるあうこいきぐよは

ておそぐひり〳〵きる。ハ〳〵きう〳〵まてる。ゆうれいふ
りの〳〵ちうこれぐ。ぐうきれてゆるのしやア抵へう。
ぐふゆ〳〵ゆりゆ。ふりちぐ。トむふうよきはていきく
ハイ。ゆとびなきうまし〳〵ちうコレぐふも合点ぐはぬ。
ていぐ。ハイ赤板宿でおぐうまきて〳〵ハ〳〵孫
ひきんぐふ〳〵ちのぐこの〳〵まぐきぐうてゆやア
ぐるトいつまげ出てれしゆさん。なんとての肉へ。
うえきう卵塔場ぐやア抵へう〳〵ちうあつ寄る〳〵

おうりうく〜ト内うちの女おゆるおかめ〜ちきうませ
ようやうの女
ア活行さん。生腐よでも入て。乳とおちつけるぶ
いよ〜ちくきうめが。蟹と蛤へいれよとおつて。
そのまとくふのう〜ナニ湯い清みでおざうまと
うう。妻で。おざうまと。ニアおいでなさうやせ
トうとてへれ女ちゃ〜モシ
とうできうう〜モシ
およびおきうませ〜
て行うとアいもぐこ〜
お淋しうア。女房さんがこでも
活行だうアいつる。石地蔵を抱
いるとあつ〜ありまと

上中ハン二十七

ハ〜そんちううさうなへさとうやせう
ざいきうこ〜ア行よお客さうなへやとまと。今晩ハ私
ニアかホとと〜行るうがおざうまとうう。出酒と
ひとうあげませう〜トいうちうてかさみきるもう〜おうまいな
さるるなんでおめでこれてうの〜ハイおさやうで
おざうまと。ニアこの物めよ嫁と世ました。
そ晩ん盛り礼をうとさうせまきとうう。おやうまきう
おざうまきよトいて
ハ〜ちうようあがう〜ちなんざ。おごう

うけるの詞二
コリヤいよ〳〵。きまつめがそどうらきまつまろ。
かふ風呂へも出るめへ旦那ゆへ
うげんよ〳〵。さうとハ秘密ぶけへとうと詞二イヤ〳〵
めつたゆどんいるうぬ。との御ぶつもこんなはうま
そふよへへても性ハてるのくをや太のくをぞうふ
同ハ
ホンニそふどうふ。おめへハそるるせへとつい
まうがてへ。おまぢるゝゆうしやせう トきさハ
上世ヘン三十八

ふてきろくしのうけ。詞二ハいがいぢが
きろくきまうよへそもみるゝ引ぞすぢて いめへまゝい。ゑと
ロろくさゝやゝぐる。きづりへ行へうぢいのゝるせへ
ホンニ
イヤ〳〵るのふ仮どうふ。ドレゆるしてゑせやくう
ムウ。とゝやゝかんとうのようふどうもくへられぬし
まうよやうを。トぢいつのでのこ泡ざ。ドレくさうを。
ヨウトハおよハどうもいろあんぶ乳ふへ行へうびと
まうりふ。かり〳〵。こいろいかんとうのうびどう〳〵トハ
さいろまさつさろくしのうけ。式内ろるるへ。ゑんらぐのおゝぐぶり
とさんぐく。ろうこゝきいちうゝるれざゝさよへだやこん出のさうづて

ごくもじとくてうの文句にはいかいの
俳風をゞとかく〳〵さぶみよりはやあひよおきて
おこてゆくでこうろれはやンヤアこうやりまいるこ
ゝやうはゝ〳〵いつうちめくさろきり〳〵ちをとたなを
ぬぐちろくころちくまりるおんくそのせうぐん
ざのくいつ〳〵おりやアやくもひうで答うろ
さ〳〵ゝ〳〵ちゝアこ化されと気もよなゝてゝこが
今おりやアそふでも猫くそんご苦労とさやア

ぐろくゝちまめくのそらうしとよろうア。あくゝア去ぞろう
出て。なんちゆるめよあゝこ。〳〵ト猫ろくよろ猫ろ出れれる内おくの
ぎきとすろうゝ千代もかゝじいくちよもさうへさるる松
春のかさぞろ竹のよう成こあて。老となるまでと結
でこのゝうろ。三世の縁とこうさてる
ろ。南ん〳〵ト〳〵ちくさぎ紀ゝ〳〵あるこぐ。
ト〳〵ちくとこうまくよろ〳〵くくくるまやせゝ〳〵コレ
女中。猫ゝ云へりくまくさぐめて嫁ゝうゝ

くゝろ〻ゆ（女）ゑ（ア）むこ（ア）ゑもよゝ男よわごき（ア）ゑ（ア）ゝ
ゝきゝ（ア）ゑ（ア）ゝよゝでゝおざゝゝまゝ。おきゝのぞゝるゝこゝゝ。
あちゝの（ア）ゑ（ア）よ。ゑ（ア）やゝきゝゝ（ア）ゑ（ア）ゝゝ。むゝつゝごゝゝ（ぎ）
きゝこゝゝまゝきゝゝよゝ（ア）ゑ（ア）んゝざゝゝそゝんゝるゝゝ（ア）ゑ（ア）ゝ（てい）合ゝ（ろうじ）別ゝ（ア）ゑ（ア）ゝあゝゝ（ア）ゑ（ア）
まゝるゝ（ア）ゑ（ア）ゝとゝゝ（ア）ゑ（ア）ゝの大（ゝん）変ゝ（ア）ゑ（ア）ゝ（モウ）おゝきゝゝ（ア）ゑ（ア）ゝまゝゝゝ（ア）ゑ（ア）ゝゝゝ（ア）ゑ（ア）ゝ
ト出てゝ（ア）ゑ（ア）ゝゝゝゝ（ア）ゑ（ア）ゝゝゝ（ア）ゑ（ア）ゝゝゝ（ア）ゑ（ア）

むこ
「あいらく」。コリヤ。ごめんなんぜ。帝様。
こうこと。トもなおなごあがあんどもひろうしてまつらくしゃ。
ほうけんちゃうあげて。おのがゆくえをかくしたきこえ
まごくしてそのむこ小八つまさくしちんらくらく一時めんなせんぺ。ほうよゆくらんて。
ツイ戸まぐちをもやこせんてんこの世中ごろう。
あるぎき
夜分夜のまん中よ。ひ地とおくらく。そばよまん
まづいておきのぐぐぷ。小夜がりるよのぐ。ちゃと
いいてまやせう。とうとさちゃうそうんるせん「いや
ちゃ。あきれてお人ちちしゃ。よざ。あきらもあんしも地

ちうけるなうこ。コリヤおさんく。ぐれぞそやう。いこ
してくれぬりトよびうるこよりトせがあとうりて
まくだこうこうづけるよきこ八もきりち
るくだぐれーうこうこもあてひきこてやくこまことりくいうて
りよのやどこうべうこうきどくこ行けるこ行こ玉しこ
行て　きけばやこちうちゃ　るくこ紙
こうもまよたぐれしあどのうけげ
きこ八も夜こうこちうこうなぐこ
聟　嫁の行やとむこうまうきがこ
こうこ　面月こ　らしなくしこ

ゑうち毎ごと。あもかけゆくまゝ。双らきぶ
まう。只いびきの様のゝさとくなりぬ

道中膝栗毛四編 上終

7